

根室管内社会科教育研究会

会 長 西 館 純

1. 平成 23 年度全道大会根室大会への御協力ありがとうございました

10月29日	全道社会科研究大会第4回運営委員会
11月4日	第66回北海道社会科教育研究大会根室大会開催
11月26日	根室管内社会科教育研究会研究授業（小学校）
2月3日	西館純校長退職記念授業
2月4日	冬の学習会
2月18日	根室管内社会科教育研究会第2回総会

とにかく今年は全道研一色の1年でした。研究部会、授業研を重ねて迎えた11月4日。秋晴れの空の下、400名を超える参加者をお迎えして、私たちの研究の成果をご覧いただくことができました。参加者の皆様方には、道東の外れまで足をお運びいただき本当にありがとうございました。いろいろとご不便をおかけした大会でしたが、不行き届きの数々を温かくお受け止めいただき、熱心に授業について御討議いただきました。おかげさまで、これからの根室の社会科教育の展望を切り開く、大変実り多い研究大会とすることができました。

ここまで、研究、運営の両面から私たちを支えてくださった道社連の皆様方始め関係の皆様方に深く感謝申し上げます。

2. 下半期の研究活動について

全道研でともした灯りを、しっかりと今後の研究につなげていかなければいけません。

根室大会の興奮も冷めやらない11月26日、全道研の授業者を中心に小学校部会の授業公開が実施されました。また、2月には、退職を間近に控えられた本研究会会長西館校長が、記念の授業を行いました。会場は全道研を行った中標津東小学校。内容は「高田屋嘉兵衛を通して北方領土を考える」。授業を子どもたちと共に創っていかうとする西館校長の姿勢は、根社研のこれからの道筋を示してくれる大切なメッセージとなりました。

2月4日の学習会では、管内の8名の先生に御協力いただき、授業を充実させるためのミニ講座を実施しました。参加者は26名。まだまだ満足できる人数ではありませんが、全道研をきっかけとした新しい連携に一定の成果を感じることができました。

3. 次年度に向けて

2月の総会では、全道研の総括と次年度の体制に向けた意見交流を行いました。現在の一番の課題は研究体制の確立です。一部の熱心な先生で引っ張ってきた今の体制から、幅広く多くの先生たちが関わる組織的な研究体制にしっかりと移行させることが次年度のテーマです。研究部会を定例化し、研究成果を会員に還元していくため、来年度は組織のあり方を一新していく予定です。